

2026 年度 各部会の活動概要

- VEに関する情報交換の場 -

VE情報交流部会

対象者: VE導入や新規活動を考えている方、これから担当される方

主 査: 有村 利信 [株式会社IHI ものづくり変革推進本部]

本部会は、VE の導入や推進をする上で生じる疑問や課題に関し、他企業の状況や参考となる情報を求める方を対象にしています。ここでは、様々な企業文化や職務環境下のメンバーが集まるため、普段触れることのない情報や視点の異なる考え方に触れることが出来ます。その様な情報やアドバイスを持ち帰り、皆さんの活動に有効に活用できることを、部会として目指しています。また、これまでも部会活動から共通した課題を持つ企業間の交流も生まれています。

2026年度も皆さんの疑問や課題を聞き、テーマを設定して自由にディスカッションしていきたいと考えています。東日本支部の活動に初めて参加される方は、本部会を通して協会や支部の活動を知り、自分たちのニーズに合った活動に参加されると良いでしょう。

※討議レベルを合わせるため、VES・CVS資格をお持ちの方の参加はご遠慮ください。

【初回会合】4月21日(火) 13:30~15:30(ハイブリッド開催)



- VEの普及定着と推進ノウハウ -

VE推進部会

対象者: VE活動の推進、人材育成・教育研修などに携わる方

主 査: 内村 浩之 [株式会社ミツバ 事業統括部]

VEの普及推進を目指し、毎月一度、メンバー各社のVE推進担当やコンサルタントが集まり、VEに関する課題と施策について2つの研究会で議論しています。「VE普及推進研究会」では、VE普及・推進における困りごとや課題を共有し、その解決策を議論します。「VE実践活用研究会」では、VE実践場面における困りごとや悩み事を共有し、具体的な対処・施策について議論します。メンバー同士の意見交換や事例紹介を通じて、「実践に役立つ”ヒント”や”気づき”を得ることができ、VE初心者の方も大歓迎です。ぜひ一緒に価値あるものを創造するための研究をやりましょう！

GIVE&TAKEの精神で”楽しく”をモットーに！！【初回会合:4月28日(火)14:00~17:00】



- プロモーションとVEの接点 -

マーケティング部会

対象者: マーケティングやVEに関心のある方(未経験者歓迎)

主 査: 清水 弘幸 [アットマーク・コンサルティング合同会社]

【「感性」を”なんとなく”で終わらせない】

2025年度から、「感性価値」を取り上げ、VEプロセスやマーケティングへの活用を目指して研究しています。初年度では、「感性価値」への理解を深めた上で、「感性価値評価シート」を作成し感性価値を客観的な指標で評価することが可能であることが判りました。またその過程でAIの活用が評価の適切さや結果の可視化に有効であることも判りました。2026年度は、VEプロセス/マーケティングへの応用をにらみつつ、これら成果を活かして実際にVEプロセスを実施し、「感性価値の向上」を実践、評価手法のブラッシュアップ、AIの更なる有効活用を進めていきたいと思ひます。VE/マーケティング未経験者の方でもOkです。一緒に学んでいきましょう!!

【初回会合】4月22日(水) 13:00-15:00(オンライン会議)、原則毎月第2or3水曜 13:00-15:00



- 目指せ VEイノベーション! -

R & D 部会

対象者: 新しいVE手法の創造、VEの実践、研究開発・設計部門の方

主 査: 渡邊 清彦 [アズビル株式会社 アクチュエータ開発本部]

当部会では、R&Dの現場で役立つ新しい方法や手法の研究・開発に取り組んでいます。「VEは面倒」「時間がかかる」という印象をお持ちの方も多いと思ひますが、生成AIを活用し、不慣れな方でも取り組みやすい2nd Look VEの進め方を研究しています。昨年度は、現行品の機能系統図を生成AIで作成する方法を検討し、手順整備や課題抽出を行いました。

2026年度はその継続として、「生成AIを活用したVEの取組み研究Ⅲ」をテーマに、現行品の改善を行う際の機能定義段階および代替案作成段階の検討を活動内容に、生成AIを活用したVEの実践研究を進めていきます。

活動はオンライン中心で、年4回のハイブリッド会議も予定しています。

VE初心者や部会に初参加の方も大歓迎ですので、ぜひご参加ください。

【初回会合】4月17日(金) 14:00~17:00(オンライン開催)、原則毎月第3金曜日 14:00~17:00



- ものづくりの未来を見通す -

ものづくり部会

対象者: サプライチェーン全般における「ものづくり」に携わる方

主 査: 中村 洋一 [富士フィルム株式会社 マテリアル生産本部]

“工場/施設見学会・技術交流会”を活動の柱に、人口減少時代のものづくりを模索します。2025 年度に引き続き、工場見学・技術交流会を中心に、「現場に「行って」、現物・現実を「観て」、原理・原則などを「考える(学ぶ)」という部会です。時代に合わせて、遠方とつながることができるオンラインもとりいれ、企画に応じて、現地見学、オンライン、ハイブリットを使い分けて活動します。板金、切削、樹脂加工、組立ライン等だけでなく、視野を広く化学製品、リサイクル、物流、共創・研究施設など幅広い分野を扱います。別の分野にこそ創造のヒントがあります。ものづくりに関心があり、異業種からヒント得たい方など、知識・経験のレベルを問わず幅広く参加を募ります。

工場/施設見学会・技術交流会

工場/施設見学会。先進企業の新技術、製品、取組み紹介と意見交換会
ものづくりを中心に、自動化、DX、原価企画、物流などに関係する企画を検討

ものづくりに関する勉強会

メンバーの希望を募り、ものづくりに関わる新たなテーマに関する勉強会を開催



- 調達の問題を解決 -

資材調達部会

対象者: 調達の実務経験がある方(企業 OB を含む)、VE推進部門の方

主 査: 渡邊 忠一 [三菱電機鎌倉製作所 調達部]

資材価格の高騰をはじめ、部品不足やSDGs への対応、人手不足等、最近の調達を取り巻く環境の変化は著しく、その課題は高度化、複雑化しています。当部会は、調達・購買業務に携わる方々を対象に活動しています。当部会は、調達関係の困りごとをVEにこだわらず解決に向けてチーム形式で情報交換し、解決への糸口や気付きを得る事を目的としています。

2026年度は、①コストプッシュ環境におけるコスト削減・VE、②調達・購買業務におけるDX・AI の活用、③開発購買活動の活発化・強化等、調達に関する悩みごと、困りごと、課題などについて、さまざまな業界、年代、立場のメンバーが所属する当部会の特徴を生かし、解決に向けた意見交換をしていきたいと思ひます。「調達」に関するお悩みを抱えている方は、ぜひ、この部会にご参加ください。情報交換を活発に行いながら、業務上の課題を解決していきましょう!

※部会の性格上、調達の実務経験がある方、またはVE推進部門の方のご参加を推奨しています。



- 事業戦略からまちづくりまで -

社会インフラ部会

対象者: 製造・サービス・建設など、社会インフラ全般に携わる方

主 査: 井之川 英正 [株式会社浅沼組東京本店 GOOD CYCLE SERVICE 部]

当たり前のように存在する公共インフラや、社会に定着した製品・サービス等の、身近で具体的な事例を題材にして、下記の(A)(B)2つの分科会活動を展開します。参加者相互の情報交換・分析からアイデア発想に至る技法の学習・実践を通じて、VE活動に必要な感性とスキルを高め、それぞれの立場を通して社会に貢献することを目的とします。皆で学びながら進めていきますので、初心者の方でも気軽にご参加ください。

(A)「企業ケース検討会」 優れた戦略やイノベーションで躍進する企業の、経営戦略と戦術、ノウハウをVEに取り込む手法を検討します。戦略体系図の作成を通じ、自ら携わる新たな商品やサービスのありようを、ステークホルダー間の多様な志向に基づき考える力を育てます。

(B)「建設VE研究会」 社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するため、第三ステージとなった「道の駅」をケーススタディし、課題抽出と運営改善をテーマに運営関係者との情報交換や交流機会をつくります。さまざまなVE関連技法を試行し、公共事業の改善や多様な考えを取り纏め合意を形成するノウハウを共有します。

【初回会合: 4月8日(水) 13:00~17:00 対面+Web のハイブリッド開催】



東日本支部

支部長: 曾我行雄
(株)フジタ

副支部長: 大橋守
(株)日立アカデミー

事務局: 松澤郁夫
(公社)日本 VE 協会

運営委員会 (支部長・副支部長、部会主査・副主査で構成)

* ミッションは支部年間計画の承認と進捗管理

運営企画会議 (支部長・副支部長・部会主査で全体調整を担当)

- | | | |
|----|-------------|----------|
| 部会 | ① VE情報交流部会 | ② VE推進部会 |
| | ③ マーケティング部会 | ④ R&D部会 |
| | ⑤ ものづくり部会 | ⑥ 資材調達部会 |
| | ⑦ 社会インフラ部会 | |